

令和6年度 第3回 八幡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月29日（水） 13時30分から15時45分まで
- 2 開催場所 八幡中学校 校長室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、石川 公子、杉山 貴子、江本 和真、杉山 晴康、高橋 脩夫、
鈴木 芳次、鈴木 政志（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 高木 邦子
- 5 その他出席者 佐藤 拓男（オブザーバー）
- 6 学 校 山口 俊二（校長）、松島 賢（教頭）、中村 里恵（教務主任・CS担当職員）、
原 知子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 原 知子

10 議長の選出

事務局から、鈴木芳次委員を本日の議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

11 報告事項

（1）第2回学校運営協議会会議録について

教頭から学校運営協議会の会議録が学校ホームページに掲載されている旨、また会議録には委員の氏名が明記されることが義務付けられていることが説明され、各委員にこれを了承いただいた。

12 協議事項

（1）学校関係者評価について

- ・2学期の学校評価について

（2）来年度の学校運営基本方針について

- ・グラウンドデザイン
- ・学校経営構想
- ・年間計画

（3）学校運営協議会の自己評価について

13 会議記録

教頭から、委員総数 8 名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について (2 学期の学校評価について)

教務主任から 2 学期に行われた学校評価について報告され、生徒・保護者それぞれの傾向が説明された。

アンケート結果から、生徒は日々の生活に前向きに取り組んでいる事がわかる。

また、友人同士の優しい言葉かけや態度により、学校生活を安心して過ごしている生徒が多いと感じた。

『何事もがまん強く最後まで取り組むことが出来ている』、『学校生活の中で先生や友達の話をしっかり聞いている』では去年より『そう思う』『ややそう思う』が少なくなっている。

学校行事については達成感を感じている生徒が多く、廊下等に貼られている掲示物からもその様子が見て取れる。

地域との関わりについては、生徒・保護者ともに消極的な意見が多い。

情報機器の使用に対する認識では、生徒と保護者で認識の差が大きい。

学校としては、大部分の生徒が教師を信頼しているという結果を共通理解としているが、生徒との関りをさらに工夫して進めていきたい。

地域交流では周知の不足が評価の結果に繋がっていると感じており、更なる周知を図っていききたい。教師の情報機器使用については、個別最適な学びを目標に I C T を使いこなせていないと感じている。情報発信の面では、保護者が学校の様子が分からないとの意見があり、ブログの更新を増やすなどしていく。また『たより』についても保護者が確認できていないことがあるようなので、さくら連絡網を利用した配信についても検討していく。

説明に基づき、以下の発言があった。

- ・『たより』の配付をさくら連絡網だけではできないのか (石川委員)
→ さくら連絡網での配信が増えると、重要文書が分からなくなる場合もあるため、紙での配布と併用している。(松島教頭)
- ・ 建築業界では紙文化が残っている。大切なものは紙で保管している。今の状態が悪くなければ、紙でもよいのではないか。(高橋委員)
- ・ 挨拶について、小学生はよく挨拶をする。中学生は恥ずかしいのか、挨拶ができていない。(小名木会長)
- ・ 大人から挨拶していかなければいけない。日常的に大人が積極的に挨拶してかなければ、お互いに安心して挨拶できない。(杉山 晴康委員)
- ・ 奉仕とボランティアについて、はたちの集いに八幡中の生徒が来てくれた。準備の段階から、分からないことは大人に聞きながらやってくれた。(杉山貴子委員)
- ・ 北部には北部ジュニア公民館というものがある。学校と行政が連携をとって進めている。ポイントは、行政が主役になると継続しない。地域の人の指導があつて続いていく。(佐藤アドバイザー)

(2) 来年度の学校運営基本方針について

- ・ グランドデザイン
- ・ 学校経営構想

山口校長から令和7年度グランドデザインと、学校経営構想について説明をした。

グランドデザイン、学校経営構想の策定にあたり、浜松市の基本構想、地域の強みを鑑みて策定した。

浜松市は第4次浜松市教育総合計画が始まる。市民協働による人づくりから、第4次は『描く夢と未来の実現』となり、大切なのは自分らしさであり、これがポイントだと考える。これからの未来は多様性や個性を出すことが重要になる。

学校基本構想の『3 本校の概要と課題』では、地域との関わりが薄れつつある事が課題だと考えている。

本校の生徒は、穏やかで大人しく、学習意欲の旺盛な生徒が多いように感じる。反面、周りの目を気にしたり、少しのことを気にかけてしまう生徒が多くいる事が課題である。

学校経営の重点においては、ICT教育を推進していきたい。キャリア教育では、外部人材の活用を充実させていく。夢を追いかけて頑張っている人の話を聴くことで、頑張る気持ちを持ってほしい。部活動の地域移行については、『移行』から『展開』という文言に変わった。生徒指導提要が改訂され、『自己指導能力』を身に付けさせるための生徒指導を行っていく。

これらをまとめたものがグランドデザインになっている。

説明に基づき以下の発言があった。

- ・ 部活動の地域展開について、初めは地域と進んでいても徐々に地域との関わりが無くなっていくのではないかと危惧している。(小名木会長)
- ・ 学校部活動の良さは、経験が無くても入部することができること。地域クラブになるとそれが難しくなり、格差ができるのではないかと思う。(石川委員)

鈴木芳次議長から、令和7年度グランドデザインと学校運営構想への異議の有無が確認され、異議無しとして承認された。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

学校運営協議会初回から熟議がされ、自己評価表でも課題の洗い出しを提出いただいた。

浜松市へは、小名木会長と相談のうえ提出する旨の説明が教頭からされた。

14 連絡

(1) 令和7年度学校運営協議会委員推薦候補者について

教頭から来年度の学校運営協議会委員に関するお願いと意見伺いをした。

- ・ 委員の任期は3年であるため、来年度も引き続きのお願いしたい。
- ・ PTA会長の立場で参加いただいていた江本委員のPTA会長任期が終了するが、運営協議会委員はどのような取り扱いとするか。

→委員の上限枠に1名達していないので、PTA会長退任後1年を委員として追加することを
全員異議なく承認した。

(2) 来年度の予定

・来年度は『学校を知る。地域を知る。』をテーマに3回／年の開催を予定。

15 オブザーバーより

八幡中の生徒には、はたちの集いなどでとてもお世話になった。来年も引き続きお願いしたい。

16 その他連絡事項 無し

以 上